大学、専門学校 5～9面

未来の観光を支える
流通経済大学

流通経済大学社会学部国際観光学科は93年に観光系学科の先駆けとしてスタート。「観光交流」「観光事業」「観光旅行」の3つの視点から未来の観光を支える人材を育成している。「観光の振興と発展が相互理解を生み、世界平和につながる」（香川眞教授）という考え方が根底に流れる。

授業では実践的な学習を重視。例えば観光インターンシップでは、「旅程管理主任者試験対策講座」を受講し、添乗員資格を取得した上で、クラブツーリズム、日通旅行などの旅行会社や旅館・ホテル、地方自治体の観光担当部門などで約2週間の実務体験をする。

昨年度開講した「世界遺産検定受検講座」と、JALのキャビンアテンダント出身の専任教員による「航空業界（アテンダント）講座」も学生に人気だ。今年度は「女将修行講座」も始める。「日本の宿おもてなし検定」とも連動。地域活性化に寄与する人材を育てる。

ホテル、航空会社、旅行会社などでの実務経験が豊かな教授陣をそろえ、実践的な教育を行っている。KNTツーリスト、日本旅行、東日本旅客鉄道、横浜グランドインターコンチネンタルホテル、リステルグループ、ロイヤルパーク汐留タワー、ホテルニューオータニ、東武ホテルマネジメントなど同大の就職実績には定評がある。

「キャンパス選択制」も魅力。緑豊かな龍ケ崎キャンパス（茨城県）と都心に近い新松戸キャンパス（千葉県）の2つから希望のキャンパスを入学時に選択できる。

同大には海外からの留学生も集まる。中国、台湾、韓国、タイ、モンゴル、ベトナム、スリランカなど国際的な環境の中で観光を学ぶことができる。日本語と観光を学んだ留学生の多くが、卒業後はインバウンド客の増加を目指す観光業界で活躍している。

香川眞教授の授業

企業と一体で人材育成
玉川大学

企業と一体となった人材育成。この「オン・デマンド・エデュケーション」が玉川大学経営学部観光経営学科の際立った特色だ。

折戸晴雄教授は次のように解説する。「企業が求める人材像と大学が育成する実際の人材とをマッチングさせる必要がある。そのためには、企業はもっと大学に入ってきて、大学教育や学生に対して求めることを伝えるべきだし、大学はインターンシップ（就業体験）の姿、状況を企業側に伝える必要がある」。

折戸教授は同大の卒業生。ジャルパック取締役を経て、後進の育成のため母校に戻り、07年に経営学部観光経営学科を開設した。その言葉には観光業界と母校に対する愛情がにじみ出る。

『「観光マネジメント」のできる人材を育てる。ただ机上でいくら学んでも実践力が伴わなければ意味がない』（折戸教授）として、特別研修には特に力を入れている。

1年次には箱根1泊2日研修。インターンシップは2年次夏期休暇に約2週間行う。1～3年の間に海外研修も実施。ハワイとオーストラリアの旅行会社、ホテル、観光施設、ウェディング事業者を訪問し、それぞれの経営者から直接講義を受け息づいている。

折戸晴雄教授

また同大には「事業主の子弟を育てる」伝統が

タカミヤホテルグループ（蔵王温泉）・岡崎彌平治、のとや（加賀・粟津温泉）・桂木実、水明館（下呂温泉）・滝康平、丸栄（富士河口湖温泉郷）・渡辺洋、ホテル貫一（熱海温泉）・佐藤敬子、観音温泉（下田・観音温泉）・鈴木美智子の各氏など数多くの旅館・ホテル経営者・次世代経営者が同大の卒業生だ。

「観光文化人間」育成へ
松蔭大学

吉田松陰の行動哲学「知行合一」を建学の精神に掲げる松蔭大学。その松蔭大学観光文化学部は「社会のニーズに合った、見識を持った実務に強い学生を育成する」ことを目標としている。

観光産業は「21世紀最大の産業」といわれ、観光産業の拡大は観光消費を増やし、関連産業を振興させ、地域の活性化をもたらすといわれている。

つまり、観光を振興することは地域経済を始めとする経済全体の活性化に役立ち、総合的で持続的な発展の原動力になるということだ。

その意味で、観光産業は大きな経済効果をもたらす、リーディング産業と考えられている。

松蔭大学の観光文化学部観光文化学科は「観光経営」「サービス経営」「地域観光政策」という3つの領域から「もてなしの心」を学ぶことによって、観光業界に役立つ人材を育成する。

「観光文化人間」の育成を目指す。

キャンパスは横浜、江ノ島、伊豆、箱根など有名観光地に隣接し、地理的条件にも恵まれている。その上、観光業界での実務経験が豊富な教授陣と充実したカリキュラムとによって、インターンシップ、産学共同研究・提携、地域おこしなどが容易に行える環境にあるので、「理論と実務」を身に付けた学生にとっては就職先が広がり、選択しやすくなるメリットがある。

松蔭大学の授業風景

「観光交流文化学科」開設
杏林大学

今年4月、杏林大学外国語学部に「観光交流文化学科」が誕生した。

4月10～11日には同学科新入生を対象としたフレッシャーズキャンプを実施。①キャンパス内にとどまらない観光の実践教育②観光・ホスピタリティ分野でのチームワークの重要性の認識③大学生活を有意義に過ごすための仲間作り――を目的に河口湖畔のホテルで合宿した。同学科の前身である外国語学部応用コミュニケーション学科観光コースの4年生10人も先輩として参加。チームビルディングゲームや、グループディスカッション、グループ発表などを行った。

外国語学部の全学科では1、2年次に英語と中国語、ホスピタリティ実習が必修科目。訪日外国人旅行客に対応できる人材を育成し、観光産業で活躍できる人材を輩出する。

ホスピタル、ホテル、ホスピタリティはすべて同じ語源の言葉。そして杏林大学は医学・保健系学部から出発した総合大学で、外国語学部のある八王子キャンパスには保健学部も置かれている。

フレッシャーズキャンプ

同学科の授業ではこの特徴が最大限生かされる。

例えば、保健学部と連携した授業「観光保健論」では、観光と健康やストレスとの関係、旅行中の健康管理や応急処置のほか、旅行医学と「観光概論」「観光文化論」「着地型・発地型観光論」「地域振興論」など特色ある科目を学ぶことによって、観光に対する複眼的な見方を養い、観光業界に真に役立つ人材を育成する。

「愛情教育」を根底に
駿河台大学

駿河台大学の現代文化学部は、現代の生活で人間性を豊かにするものは何かを考える学部。観光ホスピタリティコース、比較文化コース、スポーツ文化コースの3コースからなる。

観光ホスピタリティコースでは、地域と国際の観光のあり方と実務を学ぶ。観光業界や地域で活躍できる人材を育成している。09年4月設置の新しいコースだが、駿台グループで90年間受け継がれている教育理念「愛情教育」がその根底に脈々と流れる。

理論と実践を同時並行的に学ぶことで、「観光の楽しさと驚き」（福永昭教授）に気づき、ホスピタリティ（おもてなしの心）が自然と身に付くカリキュラムが組まれている。

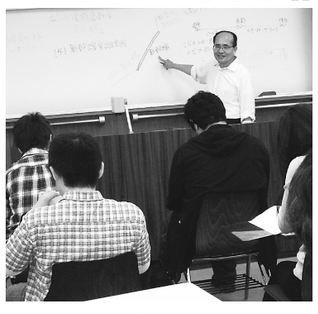
科目の特色は「実習」「資格取得」「地域密着」の3つ。実習は、国内、海外での観光・添乗研修などを用意。11年9月にはバリ島研修を予定している。これら「アウト・キャンパス・スタディ科目」やインターンシップを通じて観光業の現場を学ぶ。

資格取得では、国内旅行業務取扱管理者の資格取得のための授業を、単位認定の正式科目に設定。答案練習も行い、合格率を高めていく。地域密着では、大学が位置する埼玉県飯能市を舞台に、観光資源の開発と観光による地域振興を行っている。具体的には、飯能市と連携し、観光調査や観光振興策の提案、エコツーリズム実践などを授業の一環として行う。

福永教授が委員を務める「飯能市エコツーリズム推進協議会」は一昨年、環境省主催の「第4回エコツーリズム大賞」で全国1位の大賞を受賞。「すべての地域と人の参加」を掲げ、年間100本以上のエコツアーを催行した実績が評価された。エコツアーの企画、手配、ガイドに観光ホスピタリティコースの学生達も参加する予定だ。

講師に迎え、ツアーコンダクターの接客場面をロールプレイするなど、ユニバーサルツーリズムのあり方を学ぶ。

高尾山などの大学周辺地をフィールドに地域の観光振興の可能性を探る「多摩八王子観光論」などユニークな実践科目もある。航空会社、ホテル、旅行会社などでの実習を通じて職業意識を形成するインターンシップ・プログラムも充実している。


福永昭教授の授業

日本再生の“スペシャリスト”になろう
21世紀の日本は、観光産業が動かす!!

流通経済大学社会学部国際観光学科は、1993年に観光系学科の先駆けとして開設しました。歴史ある観光学の学びの場で、21世紀の成長産業を支えるスペシャリストを育成しています。

Open Campus 2010 10:30~15:00 予約不要
龍ケ崎キャンパス 7.31(SAT) 8.8(SUN) 8.28(SAT) 9.11(SAT) 10.30(SAT) 学園祭同時開催
新松戸キャンパス 7.24(SAT) 8.7(SAT) 8.21(SAT) 9.18(SAT) 10.16(SAT)

社会学部　国際観光学科／社会学科
経済学部　経済学科／経営学科
流通情報学部　流通情報学科
法学部　ビジネス法学科／自治行政学科
スポーツ健康科学部　スポーツ健康科学科

RKU 流通経済大学
詳しくは… RKU GO 検索
龍ケ崎キャンパス
〒301-8555 茨城県龍ケ崎市120 TEL.0297-60-1156
新松戸キャンパス
〒270-8555 千葉県松戸市新松戸3-2-1 TEL.047-340-0293
URL:http://www.rku.ac.jp/go　E-mail:ees@rku.ac.jp

玉川大学 経営学部 観光経営学科
TAMAGAWA COLLEGE OF BUSINESS ADMINISTRATION
DEPARTMENT OF TOURISM AND HOSPITALITY MANAGEMENT

■アクセス　小田急線「玉川学園前」下車　徒歩3分

ツーリズム産業界のエキスパートの育成をめざす

APETIT 活動
観光分野における人材開発のため、アジア太平洋地域内の協力を促進することを目的に設立されたAPETIT（国連アジア太平洋観光教育訓練機関ネットワーク）。セミナーや研修への参加、観光系学部の相互訪問・交流を通して、観光分野で活躍するための資質を修得していきます。

インターンシップ制度
机上では学べない観光産業の難しさ、重要性を知り、自分の将来像を見出す機会、それがインターンシップです。2年次の夏季休暇を利用し、宿泊サービス業や観光施設業などの分野で、見学型・体験型の短期インターンシップ（約2週間程度）を行います。

寄附講座
レストラン・ホテル業界で成功を収めた方を講師に迎え、成功までの過程や苦労、失敗談を話していただくのが寄附講座です。将来のビジネスリーダーを目指す学生たちにとって、成功者の一言一句はまさにビジネスのヒントであり、学習を続ける刺激になっています。

合同相談会・キャンパス見学会などの詳細は
www.tamagawa.jp

玉川大学 入試広報部
〒194-8612 東京都町田市玉川学園6-1-1
資料・願書請求 玉川大学資料請求センター 0120-322655
入試に関する問い合わせ 玉川大学入試広報課 ☎042-739-8155
玉川大学携帯サイトへアクセス！

松蔭大学 観光文化学部
「もてなしのこころ」を学び観光業界のリーダーを養成する。

本学の観光文化学部では、観光会社や企画会社で旅行プランの企画立案などに携わる人材養成の「観光経営系」、ホテルや旅館などで旅人の受け入れ・おもてなしなどに携わる人材養成の「サービス経営系」、観光での地域振興のために管理運営・企画立案などに携わる人材養成の「地域観光政策系」の3領域を学びます。

■平成23年度入試日程
AO入試
登録期間 H22.8.2(月)～10.13(水)
合格発表日 H22.11.15(月)
推薦入試
出願期間 H22.11.1(月)～11.8(月)
窓口受付 H22.11.9(火)、10(水)
試験日 H22.11.11(木)
合格発表日 H22.11.15(月)

■オープンキャンパス日程
7/10(土) 7/24(土) 8/7(土) 8/17(火) 8/28(土)
■会場
厚木ステーションキャンパス（小田急線本厚木駅前）
〒243-0018　神奈川県厚木市中町4-3-1　TEL.046-296-1511

観光文化学部　観光文化学科／経営文化学部　ビジネスマネジメント学科／異文化コミュニケーション学部　異文化コミュニケーション学科

（お問い合わせ先）厚木森の里キャンパス 広報部　TEL. 046-247-1511